

麻生区区民会議 第13回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年9月10日（火）午後3時00分～午後5時15分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]
村主委員、高倉委員、久保倉委員、高瀬委員、田中委員、長谷川委員、吉田委員
（加賀美委員、梶委員、横山委員は欠席）
[事務局]
鈴木企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者： 1人

5 議 事

(1) 調査審議課題の具体的検討について

① モデル事業の応募状況

【報告事項】

（マンション系）：7戸

（戸建て系）：12戸（うち、2世帯住宅が2戸含まれている）

- ・ 3戸は参与からの申し出で申込書は提出されていない
- ・ 3戸は9月7日のフォーラム会場で申し込み
（キャンセル待ち扱いとしている）

【決定事項】

- ・ 参与からの申し出は確定していないため、部会長が問合せ、その結果を受けてモデル事業対象世帯数を決定する
- ・ 施工業者に打診し、2世帯住宅も受けてもらえるならば上記世帯数で決定する

② モデル事業作戦会議の開催について

（作戦会議について）

【説明事項】

部会長より作戦会議に関する資料について説明。

- ・ 日 時：平成25年9月17日（火）13:30～（3時間程度を予定）
- ・ 場 所：麻生区役所第2会議室
- ・ 出席者：園田教授、建築技術者、篠原氏（「家具転倒防止－経験交流サイト」運営者）、区民会議委員（村主部会長・高倉副会長・田中委員・吉田委員）、麻生区役所企画課（事務局）
- ・ 議題（モデル事業の概要、実施体制、工法・金具等の選択・材料調達等、など）

【主な意見】

（実施体制について）

- ・ 工事施工 ⇒建築技術者・園田ゼミ学生、モデル事業全体のマネジメント ⇒部会・事務局

（モデル事業の実施に関する配慮について）

- ・ 住居への立入りが前提となることから、対象家庭の希望に沿って対応する（説明会時に予め立入りの許可・了承、入って欲しくない場所などを確認）
- ・ プライバシーに充分配慮した対応を心がける

（家具の固定工法・金具の選択・材料調達など）

- ・ 対象世帯の状況（固定希望の家具類の種類・固定場所など）に応じて工法・金具などを決めていく
- ・ 事前調査時に、固定する家具類の種類・場所・工法などの要望も把握する（対応する人員は4～5人、工事の際の段取り、サンプルを用いた説明を行い、対象家庭からの了承を得る）
- ・ 金具の調達に関しては施工を担当する建築技術者と篠原氏に依頼したい

（家具の転倒防止以外に関して）

- ・ 耐震補強・消火・防火等の情報提供に留める（必要に応じて行政発行の既存パンフレットなどの資料を用いて説明、インターネット上の簡易耐震診断などの情報も紹介できる）
- ・ 相談に応じる体制を整えておくことが必要
- ・ 消火・防火等に関しては、消火器・消火剤、消防訓練、自主防災組織などの紹介を中心に行なう

（モデル事業の予算について）

- ・ 1戸あたりの予算の目処：家具の固定金具代のみで1万円程度

（モデル事業対象住戸の概要について）

- ・ マンション系については建物の施工図面を入手できる
- ・ 戸建て系については事前説明時に確認して対応（事前調査の際に現地確認も）

（モデル事業の実施スケジュールについて）

- ・ プレモデル事業の実施、作戦会議（モデル事業説明会・事前調査・事業実施・事後調査及び事業成果の取りまとめなどについて）、事前調査、モデル事業実施、成果整理、啓発・広報に向けた提言取りまとめの順で進める

（モデル事業の実施に関する作戦会議について）

- ・ プレモデル前に実施

（プレモデル事業について）

- ・ マンション系1戸、戸建て系1戸を対象（マンション系は代表者世帯、戸建て系は最初の応募世帯で検討（部会長から打診））

（モデル事業説明会について）

- ・ 園田教授・ゼミ学生・建築技術者・部会委員などが出席する形で、区役所にて平日の夕方開催としたい（当日出席ができない方には個別で対応する方向で検

討)

(事前調査について)

- ・ 1戸毎に建物の状況（構造・築年数）、固定する家具などの種類及び個数・固定する場所・固定器具の要望などを把握（専門家も同行する形で実施）

(モデル事業の実施について)

- ・ モデル事業の実施：最小限度の人員で工事を行う（4～5人程度）

(モデル事業の実施状況の記録について)

- ・ 実施状況の記録：写真・映像で記録を行う
- ・ 予めどのような写真・映像が必要かを検討して撮影する必要がある（啓発・広報にどのように活かすのか？が重要）

【決定事項】

提示議題について

- ・ 作戦会議にて順次審議を行い、プレモデル事業に向けて体制・対応内容などを整理する
- ・ モデル事業の実施状況に関する映像記録の企画検討は、田中委員が担当

(家具の固定に関する工事について) シルバー人材センターの活用

【報告事項】

事務局より、シルバー人材センターによる家具転倒防止工事について説明

- ・ 高齢者福祉の制度では家具の固定についてはL型・T型金具での固定が主体だが、それ以外でも対応可能な場合がある。
- ・ 施工は職歴のある大工職人の会員を派遣（日曜大工程度の会員には作業させないようにしている）
- ・ 制度では施工箇所は3箇所までとなっており、取付けが難しい場合（ネジが効かない、固定する構造材がないなど）には断るケースもある

【決定事項】

- ・ L型・T型金具等シルバー人材センターでの家具の固定が可能な場合には、シルバー人材センターに依頼するケースも検討する

(モデル事業対象世帯へのアンケートについて)

【主な意見】

- ・ 一般的な防災対応か、モデル事業に関することだけのアンケートか
- ・ 事業のどの時期でアンケートを依頼するのがいいのか
- ・ 事前説明時にもアンケート調査への協力を伝え、承諾をもらう必要がある

【決定事項】

- ・ モデル事業実施後に、対象世帯にアンケート調査票を配布し記入してもらう
- ・ アンケート調査内容については、今後の部会で審議し決定する

(モデル事業実施にあたっての関係書面)

【報告事項】

事務局より、同意書や承諾書等の必要書類に関して説明

- ・ 弁護士との協議結果を受けて、書面の作成を進める予定

【決定事項】

- ・ 書類の内容等に関して、作戦会議の中で検討する

(2) その他

第14回安全安心部会は、平成25年10月8日(火)15:00開始

議題：プレモデル事業の実施について
モデル事業説明会の日程・内容等の審議

以上